

SEKAI NO OWARI

雄大な自然を駆け抜けた“眠れない列車”。セカオワがかけた“魔法”の全貌をレポート!

SEKAI NO OWARI 史上最大規模の大型野外ツアー【INSOMNIA TRAIN】。広島公演は広大な敷地に、圧倒的な自然を誇る庄原市の国営備北丘陵公園で開催。メンバープロデュースのFOODブースやGAMEブース、DJ LOVEの謎解きブースなど、ライブが始まる前から楽しませる仕掛けはたっぷり。完成度が高い仮装や、自由なファッションに身を包み、続々と集まってくる観客達。2万枚を超えるチケットはSOLD OUT。この雰囲気、もはや移動型フェスと言っても過言ではないだろう。

巨大なステージは、列車の輪郭を持つ歓楽街とでもいえばよいのだろうか？ 極彩色の看板やネオンサインに彩られた舞台の中央上部には、ピエロが鎮座してお出迎え。美しい木々にぐるっと囲まれた芝生広場とのコントラストで、誰も見たことがない特別な世界を生み出している。すり鉢状の客席がオーディエンスに埋め尽くされた時、汽笛が鳴り響いた。大歓声の中、フォーマル

な衣装に身を包んだ4人がステージに乗り込む。純粋無垢なFukaseの歌声がSaoriのピアノの上を踊り「インスタントラジオ」から“眠れない列車”は走り出した。軽やかなリズムが、会場を大きく揺らす。ギターを手にしたNakajinが「INSOMNIA TRAINへ、ようこそ！」と、ご挨拶。DJ LOVEがピエロの笑顔で、ブースからクラブを煽る。ブルーの照明からNakajinが歌い始めた『マーメイドラブソニー』では、まるで海の中へダイブしたような錯覚に。そんな幻想的なムードを、続く『Love the warz -rearranged-』では断ち切る。シリアスな空気に包まれ、強烈なビートとメッセージがPeaceの意味を問いかけてくる。どんどん想像を超えていく嬉しい展開、振り落とされたいよう楽しんでいるオーディエンス。

巨大な会場に生まれた巨大な感情を、ひとつにまとめ上げ、自由自在に揺さぶる音楽の力は圧倒的だ。短いアニメーションを挟み、SaoriとNakajinの2人が鍵盤を奏でた『サ

ザンカ』では、強く優しいFukaseの歌声が、前を向く勇気を呼び起こしてくれる。ここで最初のMCタイム。「僕たち、この会場にはSETSTOCKというイベントで来たことがあるんですよ。デビューしてすぐに出演した夏フェスの思い出を語り出すNakajin。その時は神楽殿というステージで、とても印象深かったという。「8年振りに、こんなに大きなステージで帰って来られたことを、とても感慨深く思います」。感謝の言葉を伝えると『Hey Ho』へ。牧歌的なメロディーに大合唱が巻き起こる、アコーディオンを演奏しながらステージを歩くSaoriから笑顔が溢れ出す。『ANTI-HERO』と『深い森』の英語詞曲を続け、Fukaseの柔らかなヴォーカルが暮れ行く空に溶けていく。

そして「ここから夜のSHOWが始まりま

最大のサプライズは新曲『ラフレシア』だろう。黒いフードを被り両腕を鎖で繋がれたFukaseが、サイドテントから通路に登場。客席の中心でキレキレのストリートダンスを披露し、最後は車で連れ去られるという衝撃の展開。不穏なメロディーとビートに体を委ね、トリッキーなりリリックが社会に問いかける問題作は、進化し続けるセカオワの新たな1ページが垣間見えた。分厚い低音と美しいライトで備北丘陵公園をダンスフロアに変えた『スターゲイザー』から、満を持しての『スターライトバレード』では、腕につけたスターライトリングが光を放ち、闇に包まれた森と大地に、星空が落ちて来たような奇跡の景色を創り出した。「こういうこと言わないんだけど……今までで一番キレイだったよ」と少し照れた様子で話すFukaseの言葉に大きな拍手が送られる。「腹筋から始めました」という初ダンスへの努力と苦労と不安を語り尽く

し(笑)、最後の曲『Dragon Night』では、弾け飛ぶ音の粒で、会場全ての心と体をひとつにして舞台から姿を消した。

オルゴールの音色が響き、アンコールは『ピエロ』から。サングラスのFukaseが歌い始めると、喜びとともに終着駅へ向かう寂しさが拍手に宿る。最後のMCはSaoriから。妊娠・出産の報告、会場の笑顔への安堵と、スタッフへの感謝などを正直に話しつつ、「今日が、いい思い出になったと思えるように」とラストナンバーは生命力に満ち溢れた

『Fight Music』。長い旅の終わりに拳を振り上げて、力強く歌い切ると同時に、夜空に咲く大輪の花火。

ビジョンにエンドロールが流れる中、歓声に手を振りながら歩く4人。ゲートから立ち去る直前、振り返り、サングラスを外しニヤリと不敵に笑うFukase。一体彼らは天使なのか？ 悪魔なのか？ 無情に閉められる扉。心をざわめかせるラストシーン。最後の最後まで、一瞬たりとも手を抜かないエンターテインメント。それは“演出”なんて野暮な言い方よりも“魔法”という言葉の方がしっくりくる。この日、この時間だけ走った“眠れない列車”が、日常にかけた“魔法”はきっと解けないはずだ。再びSEKAI NO OWARIと出会うその日まで。

動物殺処分ゼロ支援公演「ブレーメン」

10月19日(金)・20日(土)
神奈川・パシフィコ横浜 国立大ホール

●動物殺処分ゼロ支援プロジェクト「ブレーメン」
公式サイト <https://bremen-project.net>



SET LIST

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| 01. インスタントラジオ | 13. Re:set (新曲) |
| 02. マーメイドラブソニー | 14. 白昼の夢 |
| 03. Error | 15. Monsoon Night |
| 04. Love the warz -rearranged- | 16. ラフレシア (新曲) |
| 05. サザンカ | 17. スターゲイザー |
| 06. Hey Ho | 18. スターライトバレード |
| 07. ANTIHERO | 19. Dragon Night |
| 08. 深い森 | ENCORE |
| 09. 炎と森のカーニバル | 01. ピエロ |
| 10. RPG | 02. Fight Music |
| 11. Death Disco | |
| 12. MAGIC | |